

熱を込めての2時間
石川氏縦横無尽に語る

全国革新懇代表世話人
石川康宏氏 講演会
主催 平和・民主・革新の日本をめざす上越の会準備会



8.7兆円もの軍事費が計上され、際限のない軍拡が進められようとしている今、「戦争のできる国にだけはしてはならない」との思いを共有する市内の民主団体などが協力し、「平和・民主・革新の日本をめざす上越の会(上越革新懇)」を結成する動きが盛んになっています。

24日、その準備会が主催し、全国革新懇代表世話人の石川康宏氏(神戸女学院大学名誉教授・経済学者)を招いての講演会が行われました。

石川氏は、現在の情勢、各政党の本質、打開するための方策、それに民主団体のあるべき姿などを、参加者を引きつけながら一気に2時間語りました。(詳細続報)

日本共産党上越市議員団ニュース
No.873 2025年6月1日
連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

ハラスメント防止条例の制定や 通年会期制の実施で詰めの議論に

議会改革推進特別委員会

3つの分科会で

昨年春に新たなメンバーで再構成した「議会改革推進特別委員会」は、より市民に開かれた議会、より本質的な議論を進めることのできる議会、積極的に政策提言を行う議会をめざして議論を進めています。

この委員会は、議会改革を進める上での重要な課題を3つにしぼり、それぞれを3つのグループ(分科会)で議論しています。

ハラスメントアンケートも

このうち、オンライン委員会検討分科会は、オンライン委員会を実施するための条件や細かい制度設計にめどがついたことから、現在はハラスメント条例の制定に向けた議論を行っています。

ハラスメント問題では、5月17日に全議員で研修を行いました。その研修で学んだことを生かして、より具体的なものにすることをめざして、議員向けのアンケートを行うことを計画しています。

このアンケートは、ハラスメント発生を未然に防ぐための体制を検討するための基礎とすることを目的に、「ハラスメント行為の有無」その後の

対応「研修を受けての所感」などを調査します。

研修で、全国では議員の中にもハラスメント行為がかなりあることが指摘されましたので、このアンケートで当議会にもハラスメント事例があることが明らかになるかもしれません。

会期や議事日程順序

通年会期制導入検討分科会では、会期をどうするか、一事不再議(ある議案が否決された場合、その会期中に再びその議案を審議することができないという原則)をどう適用するのかなどを詰めています。

そのことに併せて、現在は委員会審査を行った後に一般質問を行っている定例会の議事日程の順序についても整理する予定です。また、一般質問項目の重複の解消、総括質疑と会派の関係など、細かい議会の進め方やあり方についても議論する予定で、あらかじめ各委員の意見を集約した上で詰めた議論を行う計画です。

委員間討議の制度化も

議会基本条例等検討分科会では、政治倫理条例の制定に関する議論を行ってき

ましたが、この条例の制定は時期尚早という結論になりました。

現在は、委員会審議の際に委員間討議を行うことを制度化すること、課題調整会議(議員・会派、市民や団体などの提案を受け、その論点を整理し、政策化の可能性を含めて対処を検討する機関)への各議員・会派からの政策提案を積極的に行うことなどについて議論しています。

このように、それぞれの分科会でかなり突っ込んだ議論を頻繁に行っており、よりいっそう議会改革が進む機会となることが期待されています。

